

電柱配置図

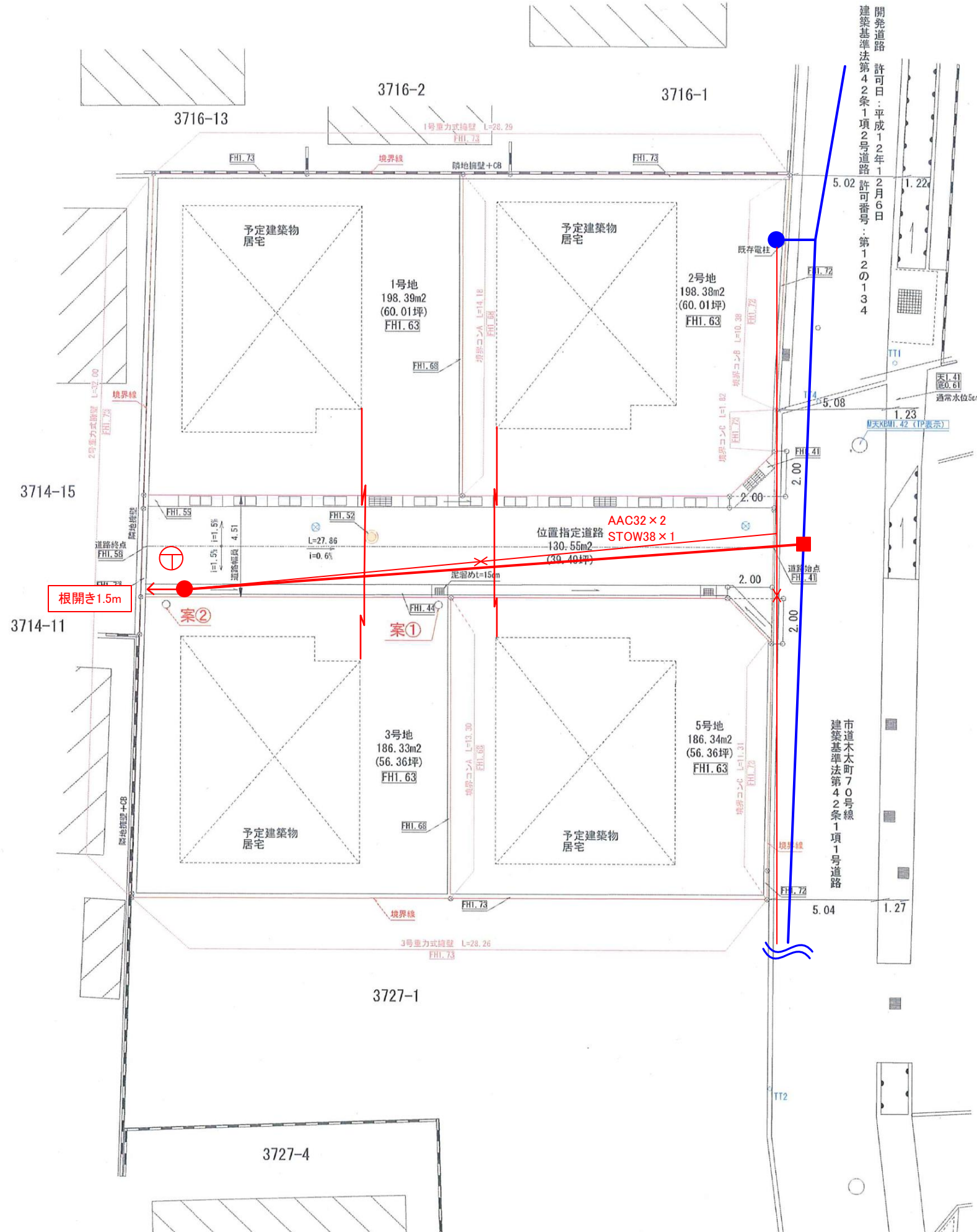
土地利用計画図 S=1/200

所在：高松市木太町字下川東3727番7, 3727番8
 (うち位置指定道路部分)
 高松市木太町字下川東3727番7の一部、3727番8の一部

非線引き都市計画区域・第一種低層住居専用地域

凡 例			
	開発区域		1号マンホール ※鉄製防護蓋、T14
	現況レベル (単位: m)		ブレイクゲートバルブ
	計画レベル (単位: m)		量水器ボックス 13ミリ予定
	雨水最終樹 蓋天高=前面道路側溝天高 管底高=宅地地盤高-60cm ※特記なきはφ150 i=1.0%		給水管 宅地内引込管はPEφ20、 φ40×20ソド付分水栓
	重圧管 蓋天高=前面道路側溝天高 管底高=樹天高-90cm以上 ※特記なきはφ150 i=1.0%		水路・側溝・管 底勾配方向
	汚水最終樹 蓋天高=前面道路側溝天高 管底高=樹天高-90cm以上 ※特記なきはφ150 i=1.0%		地盤勾配方向
	雨水排水管 ※特記なきはφ150 i=1.0%		
	汚水排水管 ※特記なきはφ150 i=1.0%		

※ 自由勾配側溝及び水路壁への管接合については、管を流水部まで貫通させること。
 ※ グレーチングはすべてT14とする。
 ※ 本開発区域に隣接して本位置指定の指定日から1年以内に開発行為を行う場合及び本開発区域内の公共施設を変更する場合は建築指導課と協議すること。
 ※ 本管への接続は支管接合とする。
 ※ 協議の対象は最終樹から一次放流先までとする。
 ※ 管の交差部はクリアランスを10cm以上確保すること。
 ※ 放流先の管底は通常水位以上とすること。
 ※ 宅内排水管の土被りは20cm以上確保すること。
 ※ 図面内の高さの表記は任意高さとし、KBMで標高 (T.P.表示) 換算している。
 ※ 土被りが60cm未満かつ車両通行の部分がある場合、コンクリートで管保護を行うか、耐圧管を使用する。
 ※ 本管上での取付管間隔は1m以上とする。
 ※ 取付管の勾配は1%以上とし、断面方向の接続位置は本管の中心線より上方とする。
 ※ マンホールでの管きよ接続の削孔同士の間隔 (残り代) は内側面で10cm以上確保する。
 ※ マンホール可とう継手を使用する。



凡例(青:既設、赤:新設)

	電力電柱
	NTT電柱
	支線
	高圧線
	低圧線
	架空支線
	変圧器
	引込線